

ポリテクセンターの訓練をきっかけに、ものづくりの仕事へ！

仕事を辞めたあと、ハローワークへ行ったのですが、そのときに職業訓練のことを知りました。もともと「絶対に製造業に行きたい」という強い思いがあったわけではなく、「なんとなく面白そうだな」と思ったのが正直なところで、それが溶接の訓練を選んだ決め手でした。

実際に訓練が始まってみると、同じ時期に入所した受講生ともすぐに打ち解けて、一緒に作業をする中で自然と会話も増えて、楽しく訓練に取り組むことができました。

訓練内容で、特に印象に残っているのが被覆アーク溶接です。金属同士がくっついて、一体になっていく感覚が面白くて、「ものづくりって楽しいな」と強く感じました。

ものづくりの仕事の楽しさと、難しさ。

仕事をしていて楽しいと感じる瞬間は、「製品が上手く出来上がったとき」です。自分の手で加工し、形になった製品を見ると達成感があります。

一方で、思うようにいかないこともあります。なかなか完成形に近づかなかったり、仕上げまでに時間がかかってしまったりすると、難しさを感じます。特に溶接では、熱による「ひずみ」が出やすく、狙い通りに仕上げるのが簡単ではありません。

西鉄車体技術株式会社

上田 謙一 さん (41)

[⇒前職：介護職(正規)]

金属加工技術科
(6か月訓練)

令和4年11月 入所
令和5年4月 修了



将来の目標は、更なるスキルアップ！

これからの目標は、今以上に仕事を覚えて、さまざまな加工に対応できるようになることです。事故車の修理など、現物に合わせて製作する作業は難易度が高く、まだ任されていませんが、将来的にはそうした仕事にも対応できる技術をも身につけたいと考えています。

特別な動機がなくても、「なんとなく面白そう」という気持ちから始めた職業訓練が、今の仕事につながりました。訓練で学んだことは、実際の仕事でもそのまま活かせる内容ばかりなので、訓練中はしっかり学ぶことが大事だと思います。

就職先企業での活躍

上田 謙一さんの業務

バス車体の部品を作る仕事をしています。半自動溶接やTIG溶接を使って、整理券発券機の台や行先表示器のカバーなどを製作しています。バスの改造依頼があると、車体に合わせて穴位置を調整するなどの対応も行います。溶接だけでなく、図面確認から加工、溶接、仕上げまで、一つの製品を最初から最後まで任されています。



採用者の声 車体整備課 部品係 係長 佐藤翔也様

当社では中途採用の方も多く、入社後は社内で丁寧に技術指導を行っています。ポリテクセンターでは、車体整備に活かせる基礎技術を事前に学ぶことができるので、未経験の分野に挑戦する方でも安心してスタートができると思います。

仕事に興味を持ち、前向きに取り組む気持ちを大切にしていきたいと考えています。



西鉄車体技術株式会社 (佐賀県三養基郡)

現在ポリテクの修了生が活躍中

バス車両を中心に車両改造・修理および関連部品の製造・販売を行っています。新車・中古車を問わず、オーダーメイドによる車体改造に対応し、法規に配慮した安全性の高い車両を提供しています。また、バス車体の修理や事故車両の復元など、現物に合わせた柔軟な対応を強みとしています。部品販売では、車体部品のほか、安全性や利便性を高める各種装置も取り扱っています。バスの改造から修理、部品供給まで一貫して手がけています。

(製品例)

キッチンカー、生態観察バス、オリジナルデザイン観光バス、医療防疫車、動物公園内パトロールカー

